



大船渡市議会議員

佐藤優子

活動報告

【編集・発行責任者】 佐藤ゆうこ後援会

大船渡の
未来は
みんなで
つくる

ゆうこだより

佐藤優子
プロフィール

1974年7月31日生 日頃市町出身・現在大船渡町下平在住

【経歴】日頃市小学校、日頃市中学校、大船渡高校、東北学院大学経済学部卒業後、衆議院議員秘書、NPO法人などを経て株式会社カメリア社中を起業。2020年5月から大船渡市議会議員
【議会の所属】総務常任委員会委員・議会運営委員会副委員長・大船渡地区環境衛生組合監査委員

2024年
3月発行

Vol.12

大船渡の未来は、みんなで作る

ゆうこ
あるく

はま・おか・まち



佐藤ゆうこの思い
Yuko's Vision

みんなが安心して暮らせる大船渡/

毎年約700人、人口が減っている大船渡市。

今後、地域を支える人材は？公共サービスはしっかり受けられるの？市の財政は大丈夫？
10年20年、その先をしっかりと見据え、みんなが安心して暮らせる大船渡を目指します。



▲詳しくはこちらから

持続可能な大船渡へ

『大船渡ポジティブ宣言!』

今、大船渡にあるものを活かす。
みんなでおおふなどの“いいね!”を再発見し、しっかりと発信!
誰もが分かりやすい行政手続きのデジタル化を進め、性別にとらわれない多様な視点を用いて、みんなが心豊かな暮らし・持続可能な大船渡を目指します。

防災・地域・教育

みんないきいき安心な大船渡へ

備えることの大切さを決して忘れず、災害に強いまちづくりを目指します。
地域で支え合い、快適に暮らせる地域・環境整備の促進。子育て環境・教育環境の充実はもとより、こどもからシルバー世代まで、一人ひとりの可能性を応援し、誰もが生きやすい大船渡を目指します。

産業・観光振興

にぎわいあふれる強い大船渡へ

特にも震災復興でのご縁をはじめ、これまでのつながりを活かしていくことはとても大切なこと。つながりをまちのにぎわいに!
水産業をはじめとする1次産業、既存企業の応援。そして、“稼ぐ観光業”にすべく官民連携を強化した観光振興を目指します。

行政・議会改革

しっかりと暮らしを支える大船渡へ

人口減少によって、それに伴う経済・産業活動の縮小による税収の減少、高齢化の進行による社会保障費の増加で、市の財政はますます厳しさを増していくことが予想されます。新たな財源確保を目指すと同時に、行政サービス、そして議会の在り方についても議論を深めます。

政治は決して難しいことではなく、普段の生活のこと。

政治家たる私は、遠い存在ではなく、みなさんの身近な存在でありたい。

そのために、私は今日もあるく。

市政課題は机の上ではなく、日常のまち・生活のなかにあるから。

これから



みんなのおもいを市政に反映させるために

◆ゆうこあるく

市内あっちこっち、みなさんのもとへ！

◆ゆうこハウス～日頃市町関谷～

私が生まれ育った家を、みんなが集まれる場所に。また大船渡町下平にも事務所を常設するので、お気軽にお立ち寄りください。



◆ゆうこの部屋～みんなでおしゃべり会～

子育てのこと、防災のこと、色々な話題を気軽に話せる場。定期的に開催します。

◆「ゆうこだより」のお届け

活動をお伝えするのはもちろん、直接みなさんの声をお聞きたいから。



まなぶ 各種講演会への参加、ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟の会員となり、オンラインや東京に行くなどして学びを深めています。

地域活動 ◆大船渡・海を愛する会 ◆うみねこ子ども食堂 ◆みんなでおどっぺし！おおふなと ◆大船渡市商工会議所女性会 ◆国際ソロプチミスト大船渡 ◆大船渡市更生保護女性の会などで活動しています。

日々の活動をお伝えするために情報発信！

◆SNSで情報発信をしています。

Instagram、フェイスブック、公式ラインなど

◆「ゆうこだより」を2021年7月から年4回発行しています。

紙媒体も大切！デジタルが苦手な人へも、しっかりと活動を届けたい。



配布は一部地域に限られますが、公式サイトからもご覧いただけます▶



いろんな声をキャッチ！



日頃市町関谷の五葉橋

「橋のらんかんが腐って危ないぞ！」と、小さい頃からお世話になってきたみなさんからの声。2023年4月、立派にしてもらいました。



大船渡町宮ノ前の道路

「県道と市道との接続口が狭すぎる」との声から、間口を広げてもらいました。特に海沿いから山側へ向かう道路は、避難道ともなり得ることからとても重要です。



盛川河川敷公園内の整備

安全に昇り降りするために「階段に手すりがほしい」と、グランドゴルフ愛好家の方の声から、手すりを設置しました。健康増進のための取り組みを応援します！

ゆうこ
うごく

全定例会で一般質問に登壇！

4年間で
16回！

これからもみなさんの声をしっかりキャッチし、市政運営に反映できるよう尽力してまいります！

【主な活動実績】

女性に選ばれるまちになるために

2023年「男女共同市民会議」開催

「消滅可能性都市」大船渡市：20～39歳女性の人口将来推計
大船渡市 2015年2,968人 → 2045年851名(71.3%減)

市政に多様な意見を取り入れ、持続可能な大船渡となるよう市民会議創設を提案。

これから

女性も男性もいきいきと働ける地域となるためには？など、具体的な課題解決につながるような市民会議開催を目指します。

※消滅可能性都市：2014年の20歳～39歳女性人口が2040年に50%となる都市

誰もが自分らしく、多様化する家族の在り方を尊重

大船渡市パートナーシップ・ファミリー宣誓制度

2024年4月1日 制度導入

2023年6・9月定例会にて早期導入を提案。

※パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度：同棲カップルや事実婚など、現在の婚姻制度を利用することができないが、お互い人生のパートナーとすることを誓いあった二人について、自治体はその契約を受理したことを証する制度。

下船渡のカキむき場から

作業中、防災無線が聞こえないよ！

2021年7月大船渡市公式LINE導入

すぐに防災無線設置が難しければ、利用者が多いLINEの導入は？の声。2020年12月定例会から議論し、カタチに。

これから

情報は安心のため。自分がほしい情報をしっかりと見つけれられる利便性が高い、公式ホームページやSNSの導入を目指します。

むずかしいデジタルはNO！

紙で行政情報を届けることも大事！



2024年8月「くらしの便利帳」導入予定

行政サービスや地域情報、医療情報など、暮らしに役立つ市政情報をわかりやすくまとめた1冊。2023年9月定例会で提案。

これから

デジタル化が進んでも、紙媒体もアナログ的視点もとても大切。誰もが、わかりやすく行政サービスが受けられるよう尽力します。

今や大事な財源「ふるさと納税」

令和5年度 寄付金額は倍増！



寄付金額アップのため、2021年6月定例会から中間事業者の見直しをはじめとする様々な議論を展開。

これから

中間事業者が新しくなり、寄付額は上昇傾向にあるものの、まだまだ！大船渡市の宣伝「シティプロモーション」の推進をし、出店企業が活性化するよう、後押しをしていきます。

※令和4年度の岩手県平均は約4億でしたが、大船渡市は約2億円

